

# 岩屋中だより

令和5年8月9日

8月30日 NO9

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

平和の尊さを深く学び、それを後世へ伝えるのは私たちの責任。  
それは、小さな一歩。でも、皆でやれば大きな一歩。

今から30年ほど前の話です。私は、大学時代、東京都に住んでいました。私が通う大学は、全国から人が集まってくるので、友人の出身地も様々でした。東京都、大阪府、静岡県、広島県、福岡県、石川県、宮城県、千葉県、埼玉県、神奈川県、新潟県、秋田県、北海道……自分が住んだことがない地域の人と出会うことは、これまで当たり前だと思っていたことや考え方が当たり前ではないと認識する場でもありました。

ある日、友人たちと夏休みについて話をしました。登校日なるものがあるか否かについてです。私は、8月9日は必ず登校日だったと話しました。友人は、なぜ、8月9日に学校に行くのか不思議な顔をしています「8月9日に学校に行っとなにをするのか？」と問われました。長崎生まれの長崎育ちの私にとっては、8月9日に学校で平和学習を行うことはまったく当たり前だと思っていましたので、友人が8月9日の登校日を疑問に感じることも体が信じられなかったのです。「だってあたりまえやろう」と私は言いましたが、友人は8月9日の意味をわかっていないため、登校して平和学習を行うことに疑問を持っていたのです。「長崎にとって、8月9日は原爆が投下され、多くの人々が亡くなり、苦しかった日だから、その日に平和を願って平和学習をするんだよ」と説明しました。友人の中には、8月9日が、長崎原爆の日だと知らなかった人もいました。私たちにとっては、幼いころから、8月9日が特別な日であると認識していても、世間は違うというのが初めてわかりました。

私は、平和について深く学習するのも当たり前だと思っていましたが、それもまた、地域によって様々です。

しかし、長崎だからこそ、平和について詳しく学ぶことができるという考え方も理解できます。私たち長崎の人間は、他の地域の戦争の惨禍（さんか）について学習してよく知っているかという知らないことも多々あります。沖縄戦について、東京大空襲について、神戸の大空襲について、佐世保の大空襲について、知覧の特攻隊について、川棚の回天訓練基地について……今から学べるところはたくさんなることに気づきます。

長崎に住んでいる私たちにとって、原爆投下の8月9日はやはり特別な日です。だからこそ、この悲劇を繰り返さないためにこの時期に平和学習を積み重ねることは、大きな意味があります。毎年積み重ねることによって、意識も新たになり、深い学びになっていきます。戦争によって使われた核兵器は2つ。広島と長崎。その長崎の被爆の惨状（さんじょう）、被爆者の悲しみ、被爆者に対する差別などを学習することは、平和な世界をつくるための小さな一歩かもしれない。しかし、高校生平和大使が言うように、小さな一歩であっても、無力ではないのです。その小さな一歩が重なって大きな一歩になるのです。

私は、被爆2世です。母が被爆者です。小さいころから、原爆の恐ろしさを聞いて育ってきました。原爆資料館に展示している写真以上に恐ろしく、悲しく、つらい世界が現実にあったことを聞いてきました。1945年8月9日から78年経過します。被爆者は遠くない将来この世界からいなくなります。被爆の惨状を直接語るができる人はいなくなります。「単なる過去の出来事」で終わらせることなく、長崎が最後の被爆地になるように、平和の尊さについて学び続けていしましょう。そして、語り継いでいましょう。そして、長崎以外の地における戦争の悲惨さやつらさなども学習して、学びを深めていましょう。

なお、本通信は、8月9日の登校日の日に配付し、平和集会の中では、この通信に記載をしている内容をもとに話をする予定でした。台風接近のためそれはできませんでしたが、本日、8月30日に平和集会を実行できてよかったと思っています。私は、本日午前中不在するため、私からの話はこの通信を黙読する形で対応をしました。十分に読むことができなかつた人は、家で改めて読んでください。なお、始業式の日、本内容については改めて触れたいと思います。

## 平和標語

平和の標語が中央階段の掲示板に掲示されています。どの作品も、平和学習の成果を表す素晴らしいものばかりです。その中でいくつかを紹介します。ここで全てを紹介はできませんが、是非階段に手足を止めて見てみましょう。私たちの平和への意識も新たになるはずですよ。

笑顔という  
世界の桜を  
満開に

一人一人の優しさが  
平和の道への  
かけ橋に

戦争で  
命の桜  
ひとつ散る

戦争は夢と希望を奪いとる

思いやり  
それは平和の  
道しるべ

日常に感謝の心 忘れずに

## 地域の方から

先日、地域の会議や校区内の小学校の校長先生同士集まった会議がありました。その時に、岩屋中学校の様子について以下のような意見が出ました。

○岩屋中学校の生徒は、朝からきちんとあいさつをしている。大変すばらしいと思います。

○朝からのすがすがしい挨拶には感心します。大きな声で立ち止まって挨拶するので感心しています。

○暑い中、頑張ってますね。

○滑石公民館あたりから、岩屋中学校に通じる道がありますが、朝から登校するとき、下校するとき友人と楽しそうに話しながら歩いていますね。ただ、その道は道幅が狭いので、車が通る時に、横に並んで歩いていると車がぶつかりそうなきが多々見られます。緑のゾーンはありますが、横に並んで歩かないようにしてほしいと思います。

地域の方からお褒めの言葉をいただいています。実践の成果です。続けていきましょう。なお、滑石公民館付近から岩屋中前の道路に通じる道は確かに狭く、運転するとき前から車が来るとすれ違うのが大変で、特に、歩行者がいると、道の端によれずに大変危ないなと感じる時があるそうです。登下校で、その道を利用している生徒の皆さんは、横2列で歩行をしないようにし歩いてください。

コ  
ありがとう  
ささやかな言葉で  
世界は亦変わる

叫ぼう  
誰かが苦しんでいるという  
ことを  
警告  
誰か苦しめば  
いつか  
誰か

世界中  
つかよぐ手と手が  
かけ橋に

言わな  
誰かを壊す  
その言葉